

JERCO REPORT

2020
第31号

質の高いリフォームを提供し、事業者の明るい未来を創造する。

- ・巻頭特集 第12期ジェルコ定時総会を開催
- ・盛会長インタビュー ジェルコリフォームへの想いを語る
- ・ジェルこまち2020始動 女性活躍の推進を図る
- ・第24回住宅リフォーム市場動向・景況感調査

新型コロナウイルスに負けない！

ステイホームで

家族団らんでできる

リフォームを！



JERCO VISION 2030

質の高いリフォームを提供し、
事業者の明るい未来を創造する

ジェルコ活動3つの柱

しっかり学び・しっかり交流し・しっかりした組織で支える



JERCO REPORT

一般社団法人 日本住宅リフォーム産業協会 (JERCO)

CONTENTS

No.283 2020年 第31号

CONTENTS / 巻頭コラム	3
巻頭特集 第12期ジェルコ定時総会を開催	4
第12期の事業方針と計画骨子	5
盛会長インタビュー ジェルコリフォームへの想いを語る	12
新副会長・新支部長からの挨拶	16
ジェルコ支部活動最前線 ①北海道支部	18
②東北支部	20
ジェルこまち2020始動 女性活躍の推進を図る	22
2・3・4種会員PRコーナー	25
第24回住宅リフォーム市場動向・景況感調査	26
ジェルコ・リフォームコンテスト 募集は7月1日から8月31日まで	30
I Love Jerco 会員のみなさまのページ	32
ジェルコホームページがリニューアル	33
<最新版> ジェルコサービスファイル	34
新入会員紹介	36

■ ■ ■ 巻頭コラム 「魅力ある中部北陸支部に！」

私事ですが、2017年の支部大会後に中部北陸支部事務局として着任し、事務局として今年で4年目を迎えることになりました。

これまで中部北陸支部は会員の増強がなかなかうまくできておらず、ここ数年は会員数も減少傾向でした。そこで、昨年度は太田支部長主導のもと企業訪問やセミナーなどにより、久し振りに会員増強目標を達成しました。今年度は、さらに魅力あるセミナーの開催等により、ジェルコ全体の質の向上と新規会員増及び退会防止を行う予定でした。現在の状況は“STAY HOME”から新しい生活様式へと変化する中、支部の活動がなかなかできてなく、もどかしい思いをしています。

中部北陸支部はデザイン性の高い会社が多くあり、中部北陸支部のデザインコンテストでは毎年、

講師による評価やグランプリ決定戦など非常に盛り上がりを見せています。また、性能向上のセミナーも毎年多方から先生をお呼びしており、非常に好評です。今後、セミナーが開催できるようになった際には、魅力あるセミナーを行ってまいりたいと思いますので、是非セミナーへの参加をお待ちしております。そして、セミナー参加と合わせてとても大切なのは懇親会です。中部北陸支部の懇親会は毎回とても盛り上がり、情報収集などにも重要です。懇親会も合わせて参加をお待ちしております。

これから、もっともっと魅力ある中部北陸支部にしていきたいと思っています！

(中部北陸支部事務局 井上 賢一郎)

ジェルコ 第12期総会を開催

コロナ禍により集積人数を最小で開催 協会在籍30年・20年の永年会員も発表

一般社団法人日本住宅リフォーム産業協会（ジェルコ）の第12期定時社員総会は、6月18日東京都中央区の東京圏説会館で開催された。毎年全国各地から理事、会員など百数十名が出席するにぎやかな総会であるが、今回は新型コロナ対策のため出席を極力押さえた方式での開催となった。

総会は午後1時半から相馬事務局長の進行で行われた。議事に先立ち、リアル出席した盛会長は、新型コロナウイルス感染での被害者などに対してお見舞いの言葉を述べ、今年の事業活動への思いとして、「新型コロナで、社会や生活が大きく変わろうとしています。我々もリフォーム業の形態、働き方や友人、知人、家族との関係など、様々なことを見直すきっかけとなりました。ジェルコの3月、4月、5月の運営委員会などの会議で感じたことは、こうした緊急事態においては、情報交換、情報発信、情報共有の大切さでした。そのため質の高い情報収集と発信の仕組みをしっかり考え、ジェルコの役割、組織体制、活動、会議、事務局体制などの見直していきたいと思えます。アフターコロナを見据えて、良いところは残しながら最新のテクノロジーを使い進めていきたいと思えます。今年もよろしく願いいたします」と挨拶した。

議事は盛会長が議長となって行われた。議案は①第11期事業報告及び決算、②第12期事業計画及び予算案、③理事及び監事選任で、押部専務が議案説明を行い、全て原案通り承認された。退任となった役員は、菊地理事、中本理事、石田監事の3氏である。新監事には江原正也氏（エバー(株)代



第12期定時総会の様子は動画で配信された

表取締役）が就任した。

また、協会在籍30年と20年の永年会員13社が発表された。本来大勢の総会出席者の前で長年貢献をお祝いする予定だったが、表彰を来年に繰り延べし改めて来年の総会で感謝状を贈呈する予定となった。在籍30年と20年の会員は次の通り。

▽在籍30年＝トタニホームズ株式会社、川北塗料株式会社、株式会社井尻ハウジング、株式会社百田工務店

▽在籍20年＝株式会社リフレット、株式会社ユニファイ、リフォームビジネス研究所、株式会社竜場工務店、山商リフォームサービス株式会社、福井コンピュータアーキテクト株式会社、株式会社クワザワ、株式会社フレッシュハウス、大建工業株式会社、ホームテック株式会社、オークラ工業株式会社、トーリツ株式会社、松井産業株式会社
(敬称略)

※次ページから今期の事業方針を掲載した。

第12期の事業方針と計画骨子

一般社団法人日本住宅リフォーム産業協会（東京都中央区、盛静男会長）では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第12期ジェルコ定時総会を最少人数での開催としたほか、第12期事業方針ならびに事業計画の動画配信を行った。

配信された動画では、事業方針・事業計画の発表に先立ち、盛会長は「日本では5月末に全国すべての地域で緊急事態宣言が解除されました。しかし、気を緩めると再び第二波・三波が起こる恐れもあります。この新型コロナウイルスの感染拡大により、社会や経済の活動、我々の生活スタイルが大きく変わろうとしています。リフォーム事業の形態や働き方など、様々なことを考え、見直す契機になりました。また、緊急事態時において必要なことは、情報交換・情報発信・情報共有だと言うことに気づかされ、質の高い情報収集と発信する仕組みを作っていく考えです。また、ジェルコの役割や組織体制、活動内容なども今一度見直すこととなります。このあと、第12期ジェルコ事業方針・事業計画を発表させていただきますが、アフターコロナを見据えて、良いところは残しながら、テクノロジーを加味して進めていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします」と挨拶を述べた。

【第12期 事業方針・計画骨子】

1. ジェルコ宣言
2. 環境の変化とジェルコのミッション
3. ジェルコビジョン2030
4. ジェルコリフォームの意義
5. 第12期 短期・中期事業計画
6. 最後に

1. ジェルコ宣言（ジェルコの使命）

・ジェルコは、安心・安全なリフォームを提供する事業団体として、生活者の快適な住環境を創造します。

・ジェルコは、リフォーム事業で培った知識・経験を活かし、変わりゆくリフォーム産業界のリーダーを目指します。

2. 環境の変化とジェルコのミッション

日本の人と暮らしの環境が大きく変化してきました。人口減少・少子高齢化、高度テクノロジーの発展、多様性ある社会への変化など、目の前の大きな社会変化にジェルコはリフォームでどう応え、どう行動するのか答えを出していかなければなりません。

我々ジェルコには「生活者の期待」、「事業者の期待」、「働き手の期待」、「社会・行政の期待」の



ジェルコの
リーダーシップをもっ
と発揮してほしい！



社会・行政の期待

持続可能社会とストック活用

未来への夢

働き手の期待



安心して働きたい。
時々、子供たちと
遊びに出かけたい！

4つの「期待」が寄せられています。これらの期待に応えるジェルコでありたいと思っています。

また、我々には「ジェルコらしい」素晴らしい資源があります。ジェルコには培った知識、経験が「ジェルコの資源」となり蓄積されています。今こそその資源を活かし「ジェルコの使命」を果たす時であります。

私たちは昨年、未来へのビジョンを描きその一歩を踏み出した。それが、「ジェルコビジョン2030」です。

3. ジェルコビジョン2030

昨年、我々はジェルコ会員と全国のリフォーム事業者へのメッセージとして、「質の高いリフォームを提供し事業者の明るい未来を創造する」を掲げました。

「質の高いリフォームを提供する」とは、リフォームの提案・技術（設計・施工）を磨きあげるとともに、業務品質（現場マナー、現場管理、アフター、法令順守など）の向上を図り、人口減・少子高齢化・技術革新・多様性に応える力を備えることです。

「事業者の明るい未来を創造する」とは、リフォーム現場で働く人々の働きがいや生きがいや心の豊かさを享受できる、リフォーム業界に発展することです。これは、生活者・事業者・働き手・行政からの4つの期待に応えることで成し遂げることができると思っています。

また、生活者へのメッセージとして「Heart of Jerco ～リフォームで家が変わると生活が変わる～」を掲げております。質の高いリフォームと空間デザイン、そして、それぞれのライフスタイルを加えることで、「家が変わる」。そして、そこで暮らす人々の「暮らしが変わる」。

「ジェルコの認知をもっと広げたい」、「生活者

ジェルコビジョン 2030 スローガン

ジェルコ会員・全国のリフォーム事業者
へのメッセージ

「質の高いリフォームを
提供し
事業者の明るい未来を
創造する」

生活者へのメッセージ
Heart of Jerco

「リフォームで家が変わる
と暮らしが変わる」

の声を聴き、リフォームの魅力と新たな価値を生み出したい」という、我々の価値を評価するのは生活者であることをジェルコ会員全員で共有していきたいと思えます。

生活者の多様な生き方を支え、豊かな住生活を提供するのが我々の役割であります。

4. ジェルコリフォームの意義

今、一番力を入れているのが、「10年後も感謝されるリフォーム」を質の高いリフォームで実現させる「ジェルコリフォーム」です。

これからの社会は地球温暖化、人口減少、少子高齢化、高度テクノロジーの発展などによって多様な変化を見せていきます。生活者からの要望も多様化し、質の高い技術、専門知識、ノウハウが求められています。そこで、「ジェルコリフォーム」です。

「ジェルコリフォーム」は、豊かな未来を描くリフォーム事業の羅針盤と位置づけ、その推進で社会・生活者・事業者・働き手、この4つの期待に応えるものであります。その為には多様化した

リフォーム事業の体系を整理し、事業者が備えなければならない「リフォームの質」を明確にし、「質の高いリフォーム」が提供できるリフォーム事業者、技術者を養成することが不可欠であると確信しております。

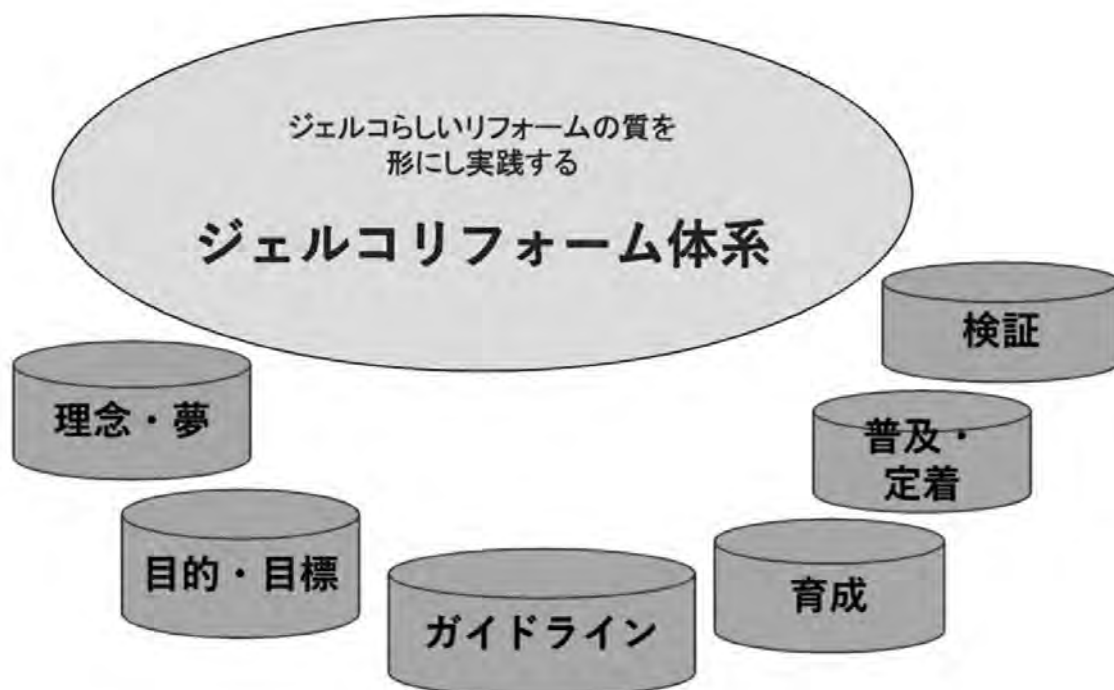
「ジェルコリフォーム」とは、質の高いリフォーム事業者による、安心・快適・健康を基本とした、豊かな住まいと暮らしを実現するジェルコらしい質の高いリフォームのことです。「確かなインスペクション」、「質の高い提案と設計と施工技術」、「質の高い保証とアフターサービス」、「リフォーム瑕疵保険、住宅履歴管理」、これらに地域性・多様性・持続性を加えることです。

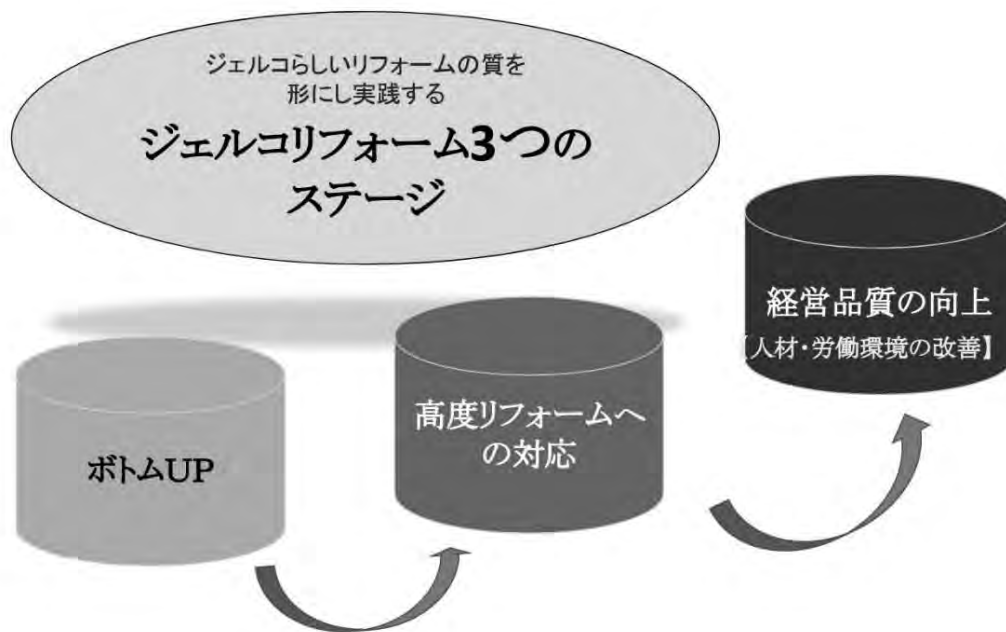
ジェルコらしいリフォームの質を形にし実践する、ジェルコリフォームはジェルコの英知を結集してできるものです。それは、「理念・夢」、「目的・目標」、「ガイドライン」、「育成」、「普及・定着」、「検証」でジェルコリフォームを体系づけています。

ジェルコリフォームでは、ジェルコらしいリフォームの質を形にし、実践するするため、リフォームの基礎技術を学ぶ「ボトムUP」、リフォームの応用技術を学ぶ「高度リフォームへの



ジェルコリフォームの体系





対応]、「経営品質の向上（人材・労働環境の改善）」の3つのステージを用意しています。

ボトムUPのためのステージ1（基本品質向上研修会）では、リフォームをジャンル別（戸建、マンションなど）に分け、座学とビデオを組み合わせた2～3日のカリキュラムを策定し、各支部で実施できる仕組み（講師・マニュアル・ビデオ等を予め準備）を構築し、開催していきます。これは、3年以上の現場経験者や監督（会員、一般リフォーム事業者）を対象としたスキルアップ研修会で、支部収益も見込めるものとなっています。

高度リフォームへの対応を目的としたステージ2は、2030年に必要とされるリフォーム技術ノウハウの習得研修となっております。このステージは断熱改修などの省エネリフォームを行える技術者の研修で、こちらも座学とビデオを組み合わせたカリキュラムとなっております。

経営品質の向上を目指すステージ3では、リフォーム現場従事者の働きがいや生きがいや豊かさを享受できる環境づくりと、社会資本としての住まいの提供を実現するため、経常利益10%と豊かな労働環境（福利厚生、休日、子育て、みんなのミカタ保険等）の確立を目標としております。

ステージ1は支部単位で開催するレベル、ステージ2とステージ3は段階的に実施しても良い

のですが、同時に進めていくことも可能となっております。

5. 第12期 短期・中期事業計画

ジェルコ指針はジェルコビジョン2030を達成するためのジェルコ活動3本の柱です。

1本目の柱である「専門性と学び」は、ジェルコリフォームで実現させます。2本目の「多様性のある交流」は本部・支部の交流、ジェルこまちの活動で実現させます。3本目の柱である「組織強化」は本部・支部の連携・信頼関係で実現させます。しっかり学び・しっかり交流し・しっかりした組織で支え、ジェルコらしい、魅力ある活動を皆で進めていきたいと思っております。

■ジェルコ活動1本目の柱「専門性と学び」 （質の高いリフォーム事業者の育成）

●「ジェルコリフォーム」の構築・研修・実践 （質の高いリフォームの羅針盤）

- ①ジェルコリフォーム体系を示す
- ②ジェルコリフォームガイドラインを示す
- ③ジェルコリフォームの学びの場とツールの整備
- ④ジェルコリフォームの品質確保のための仕組み

ジェルコ活動1本目の柱

① 専門性と学び(質の高いリフォーム事業者の育成)

ジェルコの
魅力は学び
の場

第12期活動計画	委員会・支部の役割
<p>●「ジェルコリフォーム」の構築・研修・実践</p> <p>(質の高いリフォームの羅針盤)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ジェルコリフォーム体系を示す ② // ガイドラインを示す ③ // 学びの場とツールを整備する ④ // の品質確保のための仕組みを作る (ジェルコリフォーム品質管理主任者) ⑤ // 研修の実施 <p>●人材育成、住宅リフォーム総合技術者2級の推進 ・リフォーム施工管理者教育実習研修会など</p> <p>●性能向上プレミアム住宅の推進</p>	<p>●性能アカデミー委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェルコリフォームの構築 研修制度、ツールの整備(2020年10月目標) ・住宅リフォーム総合技術者2級 ・リフォーム施工管理者教育実習研修会(DVD) ・性能向上プレミアム住宅 <p>●体制整備委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェルコリフォーム研修会実施と普及活動 <p>●広報渉外委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページへの掲載、生活者への周知活動 ・全国のリフォーム事業者への周知活動 ・ニュースリリース活動 <p>●全国8支部(支部事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員各位への情報提供、周知活動

を作る(ジェルコリフォーム品質管理主任者)

⑤ジェルコリフォーム研修の実施

- 人材育成、住宅リフォーム総合技術者2級の推進
・リフォーム施工管理者教育実習研修会など
- 性能向上プレミアム住宅の推進

これらは性能アカデミー委員会が担当し活動を実施。体制整備委員会による研修会等での普及、広報渉外委員会による生活者への周知、全国8支部による会員への情報提供を行っていく。

■ジェルコ活動2本目の柱「多様性ある交流」

(出会いと気づきと人脈づくり)

●女性交流会「ジェルこまち」の推進

●全国会員交流の推進

(多様性ある交流と学びの場を積極的に広げる)

これらはジェルこまちワーキンググループと体制整備委員会が担当し活動を実施。広報委員会による本部、支部、委員会活動のタイムリーな広報と各活動のニュースリリース、全国8支部による支部女性交流会の発足、活動会員交流会への積極的な参加の推進を行っていく。

ジェルコ活動2本目の柱

② 多様性ある交流(出会いと気づきと人脈づくり)

ジェルコの
魅力は人と
人の交流

第12期活動計画	委員会・支部の役割
<p>●女性交流会「ジェルこまち」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェルこまち目標、年間活動計画の決定 ・リフォーム業界で女性が活躍できる環境づくりなど... ・女性活用を望む事業者へのサポート <p>●全国会員交流の推進 (多様性ある交流と学びの場を積極的に広げる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国8支部会員の交流会を広める ・地域の優良リフォーム事業者との実践研究会 ・地域性を活かした交流の促進 (住環境、景観、街並み、地域文化) <p>*事業者のニーズをキャッチして、交流・研修を実施する</p>	<p>●ジェルこまちWG/体制整備委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国ジェルコの女性社員が参加できる仕組み (女性活躍社会への試金石となる活動) ・全国8支部会員交流の企画運営 ・全国実践研究会企画運営・実施(1回/2年) <p>●広報委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本部、支部、委員会活動のタイムリーな広報 ・各活動のニュースリリース ※活動の広報・告知に知恵を絞る <p>●全国8支部(支部事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支部女性交流会の発足、活動 ・ジェルコこまちWGとの連携 ・全国8支部会員交流会に積極的に参加する

ジェルコ活動3本目の柱

③ 組織強化(社会環境の変化に対応した組織づくり)

第12期活動計画

- 本部、支部事務局機能と組織体制の強化
 - 支部サポート体制強化
 - 全国8支部体制の見直し、研究
 - ジェルコ入会規定の見直し
 - ジェルコ組織と活動の安定化(事業創造PJ推進)
 - 生活者への情報提供と相談窓口強化
 - リフォーム事業者登録団体として行政、他団体と連携した活動
- 2030年に向けた改革

本部・支部事務局の役割

- 本部・支部事務局
 - ・本部と支部事務局の連携強化
 - ・会員サービス向上の為の体制
 - ・各委員会、各事業の連携、協力
 - ・行政との連携
 - ・生活者・会員への情報提供
- 正副会長
 - ・全国8支部の活性化サポート
 - ・8支部体制、入会規定の見直し、研究
 - ・事業創造PJと連携、新事業の設立を目指す

■ジェルコ活動3本目の柱「組織強化」 (社会環境の変化に対応した組織づくり)

- 本部、支部事務局機能と組織体制の強化
- 支部サポート体制強化
- 全国8支部体制の見直し、研究
- ジェルコ入会規定の見直し
- ジェルコ組織と活動の安定化
(事業創造プロジェクト推進)

- 生活者への情報提供と相談窓口強化
- リフォーム事業者登録団体として行政、他団体と連携した活動

これらは本部・支部事務局の役割となり、そこに正副会長が力を注ぐ形となります。

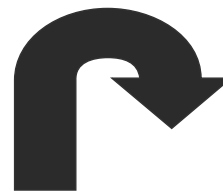
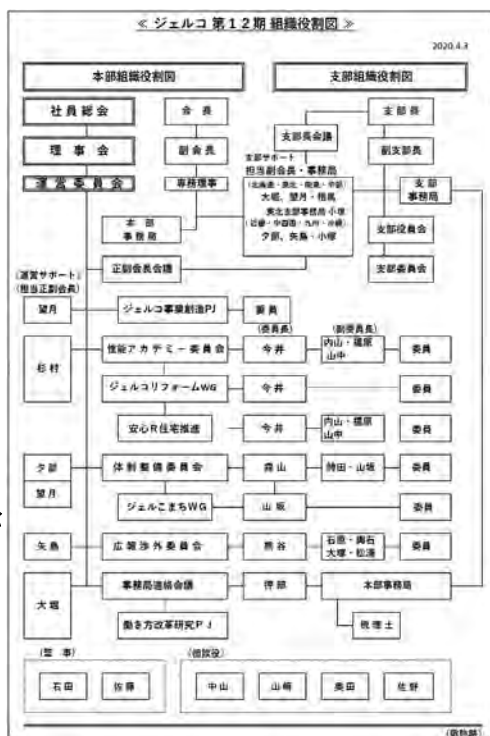
■ジェルコ12期 組織の役割

全会員にジェルコの情報が素早く、等しく伝わ



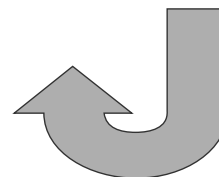
ジェルコ 12期組織 役割図

全会員にジェルコの情報が素早く、等しく伝わり、会員はそれに応じて活発に活動する。

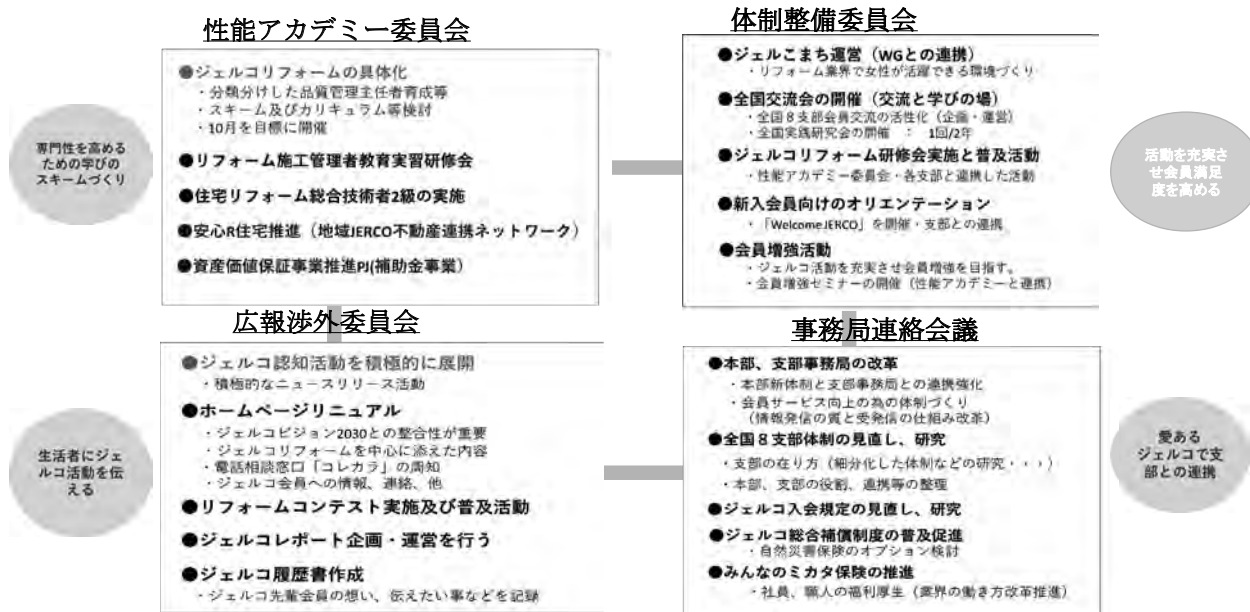


12期の組織運営のキーワード
『連携・協力』

本部、支部、委員会が総合力となる



第12期各委員会活動骨子



り、会員はそれに応じて活発に活動する組織にしたいと考えております。本部と会員の温度差を埋めるため、正副会長と本部事務局、各委員長、本部役員との連携が重要になってきます。そこで、支部サポートの仕組みを加えることとしました。第12期の組織運営のキーワードは『連携・協力』とし、本部・支部・委員会の総合力を高めていきます。

■第12期 各委員会活動骨子

性能アカデミー委員会は専門性を高めるための学びのスキームづくりを行い、ジェルコリフォームの具体化を行っていきます。

広報渉外委員会はホームページリニューアルやリフォームコンテストなど、生活者に向けたジェルコの認知活動を積極的に展開していきます。

体制整備委員会はジェルこまち、交流会、研修会、会員増強などの各活動を充実させ、会員満足度を高めていきます。

事務局連絡会議は3つの委員会をまとめ、愛あるジェルコで各支部との連携を図っていきます。

支部活動を良くするためには4つの各委員会がまとまり、連携・協力することが大切だと考えて

おります。

6. 最後に

日本は地震や台風、川の氾濫など災害が本当に多い国です。そのため、災害に強い家づくりやリフォームを進めていかなければなりません。また、持続可能な開発目標 (SDGs: Sustainable Development Goals) を見習って、我々ジェルコも活動していきたいと思えます。

■危機管理体制の再構築

■減災リフォームへの取り組み

■持続型社会へのアプローチ

リスク社会を生き抜く覚悟と備えと対策を議論、具体化の道を探っていきます。

最後に誓いとして、「無欲無私にしてジェルコ一念」を申し上げ、第12期事業計画の発表を締めくくらせていただきます。

ジェルコリフォームへの想いを語る

- ・ リフォームの「質」とは何か
- ・ ウイズコロナ時代への対応
- ・ あたらしいジェルコに向かって

ジェルコの2020年度は、新型コロナ対策で変則的な総会でのスタートとなった。盛会長は総会后にホームページでビデオメッセージを発信し、会員に向けて、ジェルコビジョン2030と今年の方針・活動を詳しく説明した。

ビデオの内容は、ジェルコ活動全体にわたるものとなったので、ここでは会長ご自身の商売と照らし合わせて、ビジョンや今年の指針の柱となっているリフォームの「質」とはどんなことかについて聞いてみた。またウィズコロナで気付いたこと、リフォーム事業者として考えたことなども話して頂いた。(6月18日の総会終了後にインタビューした)

—特にビジョンでは「質の高いリフォーム」について色々と話されていますが、普段の日常の場面の中でリフォームの商売での「質」とはどんなことなんでしょうか。まず会長の実感としてお聞きしたいのですが。

盛会長 「ジェルコリフォーム」でも質と言っているし、総会のビジョンでも「質の高いリフォーム」の提供と言っています。私は、質についても言っているので、皆さん、会長がなぜそれを強調しているのだろうと考えておられると思います。

何で質、質と言うかということですね。私はよく現場に行く方なので、いつも思っていることがあります。現場を見ていると、殆どのリフォームのトラブル原因は、大したことではないのです。釘を二本打たなければならないところを一本しか打っていなかったとか、又は打ち忘れているとか。そういう作業の基本、基礎的なことが出来ていないことが非常に多い。それも質ですね。

また、リフォーム業界に入ってくる社員さんは異業種からの方が非常に多い。その人たちは、会社に入ってからリフォームの勉強をする。先輩の後について勉強して、一年、二年経つと現場監督



をやったり、営業したりしている。ということは、専門知識がなくてこの仕事が出来ているということです。でも基礎を学んでいないので、もしかしたら、先輩等から間違っただけを教えられて、間違っただけの施工をしているということも多々ある。それが雨漏りの原因になったり、最悪、地震で潰れたり台風で屋根を飛ばされてしまったということがあるんじゃないか。

リフォームの根幹にかかわる意味での「質」です。また、そうした基礎の上で確実に仕事をするという業務の品質みたいな「質」についても言っているのです。それが根本にあります。その根本があって「ジェルコリフォーム」に繋がっていきます。ある程度基礎ができたとしても、更に断熱リフォームとか高い技術を求められた場合に、それこそさらに勉強していかないといけない。

リフォーム業界の人材は、もともと異業種から入ってきた人達なので、基本を学んでいません。だから「ジェルコリフォーム」を実現するために、ちゃんとした学びの場、時間を作りたいというのが、私の「ジェルコリフォーム」に対するもとの考え方です。

私はこれまで全国の多くのリフォーム業者さんを見てきましたが、どの業者の方もそういう基礎

の部分と人材育成で悩まれているのです。そして1事業者単独でそうした教育を行うことのできる能力・経験があるかということ、なかなか出来ないのがこの業界です。これを私はジェルコでやりたいと言っているのです。

――そうした技術的な基礎がないとお客様の本当の満足も得られないということですね。ただ「質」を求める上で技術的なことが中心であれば工務店でもいいのではないかと思います。ただし、リフォーム業として質を求めるということであれば、違う何かがあると思うのです。新築とは違うリフォームの「質」とはどういう意味なのでしょう。

盛会長 まだ皆さんへうまく表現できてないかもしれませんがね。現実的なところでいうと、いま1000万戸くらい住宅が余っていて、新築は今でも80万戸、90万戸建っていますが、新築市場は間違いなく下がっていく。そのため新築事業者も間違いなく本気でリフォームにシフトしようとしている。これまで技術力があり自前で何でも出来てきた工務店でも、やっぱりリフォームに入ってくる。そうなったときに我々リフォーム事業者が、技術的レベルが低いのでは、そうした人たちに太刀打ち出来るのかということです。そうしたライバルに対しても、もっと勉強していかないといけないと思います。

ただ今後の社会の姿を考えると、日本の住宅産業そのものがリフォームに変わっていかざるを得ないと思っています。新築をやってきた工務店等の技術・経験をライバル視するのではなく、リフォーム業として技術だけでなく全ての面で「質」が求められると感じています。十年前から私はそう思ってきました。

――ところで今、ウイズコロナの時代になって、ステイホーム、テレワークとかいわれ、これまでの社会や生活への反省、気づきなどが言われていますが、会長ご自身、自分の生活、働き方、家族

のことなど、何に対して一番の気づきがありましたか。

盛会長 いくつもありました。私自身、家にいる時間が長くなりました。ワークライフバランスではないですが、仕事と家庭とのバランスを非常に感じました。私は仕事ばかり一杯やってきた所があるので、今回家にいる時間が長くなったので、どうしても家の大切さ、家族の大切さに気づかされた。今後会社の姿として、そういうことを意識した仕事の仕方、経営をしていかなければいけないなあと思いました。

二つ目はデジタル化ですね。これはすごく感じました。これは働き方改革でコロナの前から言われていたのですが、どちらかというデジタル化を進めるといってハードの話でした。私はそれほど重要と考えていなかったのですが、今回は、リフォームという仕事でも生産性を上げることの重要性に気づかされました。

— 会社の働き方も変わるし、お客様の生活様式も変わっていく中で、今までのリフォームの商売の在り方は今まで通りでいいのか、それともどんな発展をするのか、逆にどんな縮小をするのか。その辺の新しい社会に対しては如何ですか。

盛会長 正直、社会が今すぐに大きく変わるとは思っていないのですが、ステイホームなど家庭の大切さの再認識などは変わると思います。今人口が都心に集中しているけど、ドーナツ化みたいなことになるかなと思っていますが、どの程度になるかというのは予想がつかない。でも人口移動は多少あると思います。その人口移動の中で都会で商売していた人が地方に移住し、デジタル化が更に進んで地方でも同じように商売ができるという風になっていくことは大いにあると思います。こうした市場の変化でリフォームが活発になるとは思いますが、リフォームそのものの中身が根本的に変わるということは考えていません。



— 盛会長の会社はこの数か月どうでしたか。どんな形で動いていましたか。

盛会長 実は三月くらいまではあまり意識しなかったのですが、三月後半くらいからコロナの影響あるなあ意識し始めました。

で、四月、五月はほとんど営業活動そのものはできていません。営業活動は半分しなかったし、出来なかった。やると批判されることもありましたが、お客さんも抵抗感があつたようで営業活動はできなかったですね。ショールームには、二、三人置いて留守番みたいなことをしていました。多少お客様も来ていましたので、その対応をきちっとしていました。現場は動かなかったですが、それで半分くらいは動いていた。そういう状況でした。

緊急事態宣言が解除されたのと同時に、八割くらい回復させて、六月一日からは100%通常通り動いています。当然ですが新型コロナ対策をしながらですけどね。

— 新型コロナ対策による仕事の進め方は変わりましたか。

盛会長 もちろん変えています。いわゆるオンラインの相談会できるようにして、七月一日からはホームページにオンライン相談のコーナーを開設します。

いま営業部隊には、ステイホームリフォームみたいな提案を企画して欲しいという要望を出しています。ただ、現場はそう簡単にデジタル化などは出来ないところがありますので、焦る必要はないけれど、意識をしながらそういう出来るところは変えていこうと思っています。今は ZOOM を使った提案方法などを勉強していて、コーディネーターとお客様ではすでに実施しています。これに営業を加えて3者で出来るような形にしたい。

そういう仕事の進め方というのは、主流になるかどうかはわかりませんが、ある程度進むと思います。と言うのも、うちは以前から東京とか外国から神戸に引っ越してくるお客さんの仕事結構あって、そうしたお客さんに対して、LINE を使って打ち合わせている女子社員がいたのです。今回はそうした気づきときっかけが出来たので、営業方面のオンライン化というのは比較的簡単にできるのかなあと考えています。

— 社員さんの働き方はどのように変わってきましたか。

盛会長 社員一人一人とまだ詳しく話したことがないですが、テレビとかニュース等で、ウイズコロナ時代の働き方については、生産性を今まで以上に上げなくてはいけないということを耳にしていると思いますし、その意識は皆かなりあると思います。だからこそ、我々経営者も会社として変わるところは変わっていかないといけないと思います。この一、二年くらいで積極的に出来る事をやって行きます。そのつもりでいます。

ただ社会ではデジタル化とか言っているけど、

そればかりじゃないと思う。リアルで話すことも必要でしょうし、無駄なことも当然必要やし、人間というのはそういうものがないと生きていけないと思います。

— 盛会長ご自身は個人的には、ステイホームをどのように過ごしていましたか。

盛会長 本は少し多く読みましたね。今言われたように、ワークライフバランスではないですが、「仕事、仕事じゃないなあ」と、このタイミングで気づきがありました。それがあったので、少しは自分の時間、仕事とは違う時間を作ってやりたいなと思いますね。お金だけじゃないですからね。

— 最後に、今年のジェルコ活動への思いはどんなところですか。

盛会長 運営委員会で、ウイズコロナ時代でありデジタル活用が進む時代になれば、ZOOM 等を使って全国的に会員が交流できるので、支部なんかもいらななどという議論もあったのですが、私はその意見を全く否定はしないのですが、だからと言って支部を一気になくそうとは思いません。

新しい次第に対応できるリフォームビジネス、ジェルコの組織の在り方については、フラットに考えていくべきだと思います。今期に色々な意味で組織はどうあるべきか、10年先、どういう組織が必要なのか、会員さんとのかわりはどうしていくのかなど。そういう議論を進めていきたい。変えていくべき所は変えていき、残すべきところは残す。

ジェルコのニューノーマルとして「組織運営・業務効率（会議等）・会員サービス」の3つとデジタルを活用しながら、ジェルコ事業を進めたいと思っています。

まずはできるところからやって行く！覚悟でございます。

新副会長・新支部長からの挨拶



矢島 一 副会長

近畿支部の矢島です。今回、コロナウイルス感染拡大に伴う、住宅・リフォーム業界への大きな影響が出ている中、副会長という大役を任せられ、その責任の重大性を改めて感じております。

4年前から近畿支部長としてジェルコの支部・本部運営に関わらせて頂き、3期目の近畿支部長と兼務での副会長となりますが、新しく副会長として与えられた職責を精一杯こなし、住宅・リフォーム業界が社会のニーズとウォンツに応え、大きく良好な評価が得られるよう、盛会長が進める事業に精力的に取り組んでいきたいと思っております。

また、支部・本部共に、公益、会員益、会益をどのように創出していくかがジェルコとしてのもう一つ課題であると思います。その課題をどうすれば解決できるのかも踏まえ、ジェルコ会員皆様に貢献できるよう頑張りますので皆様どうぞ宜しくお願いいたします。

社会のあらゆる人々が幸せになれる住環境作りに貢献します。

私は、地元長野県上田市の高校を卒業後、建築塗装職人を経て、24歳でリフォームワン株式会社を創業し、21年目になります。現在は住宅リフォーム・ガーデンエクステリア・古民家再生・新築・不動産と住まいのワンストップ体制を整えることができ、別会社として、障がい者グループホームこころも5棟経営しています。「三方由し」を基本理念に社会のあらゆる人々が物心共に豊かになれる住環境作りの為に日々努力しております。弊社のビジョンは持続可能な100年企業となる事です。

ジェルコは人生の学びの場です。「ジェルコのあるべき姿」はすべての会員が質の高いリフォーム事業者として人生100年時代における生活者の安心と豊かさを支え社会貢献を果たす。

ジェルコビジョン2030

「質の高いリフォームを提供し、事業者の明るい未来を創造する」
リフォーム事業者のやるべきことは、質の高いリフォームを提供し続けること。そして、その先に見えてくるものが事業者の明るい未来である。

「リフォームで家が変わると暮らしが変わる」
質の高いリフォームと空間デザインを加える事で「家が変わる」そして、暮らす人々の「暮らしが変わる」。

盛会長の方針のもと、関東甲信越支部長として、精神誠意、業界発展の為に尽力致します。



関東甲信越支部
山崎 昇 支部長



東北支部
高橋 健一 支部長

この度、東北支部長を務めさせていただく事となりました高橋健一でございます。このような大役を仰せつかるには本当に微力ではございますが、会員の皆様にも少しでも貢献できるよう精一杯務めさせて頂きたく思っております。

弊社は、15年程前にリフォーム業を本格的に取り組み始め、当時リフォーム業の右も左も分からない状態であった時に、ご縁がありジェルコに加盟をさせて頂きました。当時弊社は、ゼネコン・工務店の水廻り工事の下請けが主でございましたので、リフォーム業の知識が全くなかった事もあり元請けとしてリフォームの受注に繋げていくのは本当に苦しみましたし常に悩み続けた毎日でした。そんな状況の時に手を指し伸ばしてくれたのがジェルコ会員の方々でした、皆さんから様々なアドバイスをもらい又腹を割って話しをして頂いた事が今まで事業を継続してこれたといっても過言ではございません。

そういった意味からも今後の東北支部は、会員さん同士が理解し合い本音で話し合える関係性をジェルコの活動を通して築き上げていきたいと思っておりますし、また、会員会社様の発展に少しでも貢献できる様な支部運営に努めていきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。

ジェルコ会員の皆様、初めまして。今期よりジェルコ沖縄支部の支部長に仰せつかりました、ユーアイホーム株式会社の高良と申します。

沖縄支部会員企業の発展のためと、リフォームをご検討されているお客様が安心して工事を任せていただけるように一生懸命努力して参ります。また、ジェルコ本部と全国の支部との情報の共有を図っていき、常に最新な情報発信を支部会員に伝えていきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

さて、今年は新型コロナウイルス感染症の流行が世界中で猛威を振るう中、世の中の生活スタイルが大きく変化しました。私たちリフォームを営む会社も影響は大きく、さまざまな感染拡大予防しながらの営業となりました。特に住宅リフォームの場合はお客様がお住まいで生活しながら工事をさせて頂くことが多く、いかにしてお客様に安心して工事を依頼していただくか対策に悩まされました。しかしこのピンチの時だからこそ「ジェルコビジョン 2030」に基づき、盛会長はじめジェルコ会員で一致団結しこれまで培った経験や知識を集結させ、団体だからこそ成し遂げられる力を発揮させていきたいと考えております。

まだまだ厳しい状況は続きそうですが、コロナに負けない強い組織づくりをジェルコ会員の皆様と一緒に築き上げていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



沖縄支部
高良 盛幸 支部長

= 北海道 支部 =

北海道知事賞など独自の支部表彰を実施 今後は道内の各地域に根ざした表彰も検討



経済産業大臣賞を受賞した(株)キッチンワークスの荒井社長によるプレゼンテーション

ジェルコが年1回開催する「ジェルコリフォームコンテスト」の出展作品のなかから、北海道に適したリフォーム事例を表彰する北海道支部表彰が今年1月14日札幌で開かれ、全16作品が表彰を受けました。

北海道知事賞は「雪国の庵～小樽における吉野窓のつくり方～」で(株)土屋ホームトピアの安永千晶氏、札幌・環境配慮型リフォーム賞は「若い僕らも老後は心配ー性能向上リノベーションしました！ー」で(株)アルティザン建築工房の新谷孝秀氏、審査委員長特別賞は「家族の思い出をつなぐ家」で土屋ホームトピアの根塚恵己子氏が受賞

しました。

当日は、北海道知事（代理）、札幌市長（代理）にお越しいただき、表彰式とその後の受賞者プレゼンテーションにもご参加いただきました。ジェルコの取組を地域の自治体に知っていただくまたとない機会になっています。

2019年度からは牧野准子氏に審査委員長に就任していただきました。牧野氏はリフォーム店を経営されており、15年前、北海道インテリアコーディネーター協会会長着任時に脊髄の進行性難病を発症し、現在車いす生活です。大きな挫折感を乗り越え



表彰式冒頭の来賓からの祝辞



知事賞の表彰



市長賞の表彰



審査委員特別賞の表彰

られ、学校や企業等でノーマライゼーション理念の講師活動をされています。

審査委員長を務めたユニバーサルデザイン(有)環工房社長の牧野准子氏は「デザイン面でも機能面でも優れた作品が多くありました。なかでも、社会問題にもなっている空き家対策として、茶室を設置するなどコミュニティー機能を持たせた住宅リフォームが知事賞、省エネ・創エネという環境面に優れた事例が札幌環境リフォーム賞に選ばれたことに意義を感じます。また、想い出をつなぎながらリフォームした事例に特別賞を贈ることにしました」と講評をいただきました。

表彰式の終了後には、主な受賞作品のプレゼンテーションと、ビジネスモデル部門で最上位の賞である経済産業大臣賞を受賞

した(株)キッチンワークス社長の荒井俊吉氏が取組を説明。家具工場の開設で売上倍増につながったビジネスモデルの紹介を行いました。

ジェルコ北海道支部では、継続的に良質なリフォームに取り組む会員各社を表彰することでモチベーションを高めながら、リフォーム・リノベーション産業の活性化を目的として支部表彰を実施しており、前記の通り北海道と札幌市から後援をいただいて北海道知事賞と札幌・環境配慮型リフォーム賞（札幌市長賞）の出賞をいただいております。

今後は道東（帯広市など十勝地区）や道北（旭川市中心）の会員からコンテスト参加をつのりながら、それぞれの地域に根ざした表彰も行いたいと考えています。

＝ 東北 支部 ＝

ZOOM による役員会を開催 今後のコロナ対策を話し合う



完全ZOOM開催による第1回目の東北支部役員会

東北支部では、2020年1月28日（火）にLIXIL23階の会議室をお借りしまして、支部役員会及びリフォームコンテスト表彰式を実施しました。

表彰式では、表彰者含め24名が参加されました。オノヤさん「家族の和を育む家」、スイコーさん「減築であたたかく」のリーダーお二人には、忙しい時期にもかかわらずプレゼンを実施していただき、お客様の声や夢を実現するためのご提案やお話をしていただき、多くの方に感銘を与え、賛同いただきました。また、併せて民法改正をテーマに、ジェルコ本部の相馬事務局長のお話とLIXILさんからは断熱での提案取り組みについてのご提案がありました。また懇親会では、今回表彰されたメンバーにもご参加いただき、長くて熱い仙台

の夜を過ごすことと相成りました。

3月5日は、コロナ禍が進む中、第11期最後の役員会が開かれました。この時に第12期の新支部長に東北ユニックスの高橋さんが就任されることが承認されました。また、新役員の発表もありましたが、安全をとり、この時はアフタージェルコができず残念な思いがありました。

12期も始まり、4月は延期となりましたが、5月14日に初の完全ZOOM開催による第1回目の東北支部役員会を実施しました。菊地前支部長の今までに対する御礼のコメントを頂き、新支部長の高橋さんからは「今期の大きなテーマの一つとして、会員さんたちの交流、それ以外も含めて交流の場を積極的に増やしていきたいと思います。今までの流れでいくと役員さん



3月5日に開催された第11期最後の役員会では新役員の発表があった



1月28日に開催された表彰式では受賞者によるプレゼンが行われた



たちだけのことが多いです。まず今期は、こういった会議だけでなく、交流のためにBBQや芋煮会など年2～3回は役員・それ以外の方とも交流していきたいと思います。また会員増強にもつなげて、「宮城県以外の他県にも広げていきたい」と、今期のジェルコにかける思いと方針を語っていただきました。

参加した他メンバーからは、盛大な拍手をいただき、ZOOM会議とは思えない、力強く交流を進めていくことを宣言されま

した。

また第2部では、押部専務にも参加いただき、コロナ対策会議を実施しました。現在の現場の対応の状況や困りごとなども全員に発言いただき、参考になる情報を全員でシェアできたと思います。コロナに負けず今後も前向きに進んでいける会議となりました。

今後は、支部長の思いを乗せて、さらに活動してまいります。

ジェルこまち 2020 始動 女性活躍の推進を図る

今年は各地で活動をスタートしていきたい!!

こんにちは！夕部です。昨年、第1回ジェルこまち大会の熱い熱い2日間からあっという間に1年が経ちました。2020年度は全国各地でジェルコ会員企業の女性社員の方々と交流をする場を設けて、共に刺激を受けながらそして時には悩み事や相談事を言えるようなフランクな人間関係を構築できるように、いろいろな企画を考えて参りたいと思っております。

先日、こんな事がありました！遠く離れたジェルこまちの方から「夕部さん、現場に行く時はどんな格好で行っていますか？」と一通のラインが…。まさに私が、盛会長から副会長に任命された時に私の役割の一つとして「この業界で働く女性をもっともっと活躍できるようにジェルコで取り組みをして欲しい」とお話を頂いた時に、理事の方々へ向けた企画書のタイトルが「明日の現場何着て行こう♡」でした。

女性にとって明日の服をワクワクしながら決める瞬間は、とても幸せな事だと私は思います。忙しい日常の中で時には立ち止まる事があるかもしれないけれど、明日は少しだけ前進できるように、そうだ！相談してみよう！と気軽な気持ちで会話ができたならとても心強い事です。先日のライン、内容はともかく私の中ではジェルこまちの理想的な出来事であったと思います。と同時にとても嬉しかったですし、教える為に自分も学びます。

そんなフランクな人間関係が築けるように2020年度はオンラインを通じて、またはリアルに会ってジェ



夕部副会長

ルこまちメンバーの方々と交流を深め、明日の活気に活かせたらと思っております。山坂委員長を筆頭にワーキングメンバーでこれから切磋琢磨し、先日のアンケート結果のデータ等を踏まえてジェルコ会員の経営者の方にも認知していただけるよう精一杯努めて参りたいと思っております。また、ジェルコレポートやホームページでも活動記録として投稿していきたいと考えておりますので、こちらもご一読いただければ幸いです。2020年度もどうぞ宜しくお願い致します。(なんだか新年のご挨拶みたいになりましたね(笑))

でもこれからのジェルこまち！乞うご期待です！！

ジェルこまちワーキング委員会 発足

ジェルコビジョン 2030 を達成するための「ジェルコ活動3つの柱」の1つである“多様性のある交流活動”として、「ジェルこまち」が掲げられ、昨年全国大会を皮切りにキックオフ。2020年度に向け、体制整備委員会傘下のワーキングとして「ジェルこまちワーキング」が3月2日にスタートいたしました。第1回委員会には夕部副会長、体制整備の森山委員長はじめ、委員会の女性メンバーと既に支部で選任頂いた「ジェルこまち」担当者の方々を交え ZOOM での会議を開催。まだ担当者が決まっていない支部も多く、3支部からの参加でしたが、早く全支部に参加いただき、活気あふれる委員会にしていきたいと考えております。

「ジェルこまち」の今年度の課題は、全国ジェルコ会員企業の女性社員への認知促進です。昨年は、全国大会を東京で開催し、多くの方々に参加頂きましたが、今年度は「リフォーム業界で働く女性リーダー」、「女性が働きやすい職場環境」、「育児世代の住まいの課題解決」の3つのテーマで女性同士の交流の機会を各支部が主体となって企画いただき、支部の支援をワーキングメンバーの活動として行って参ります。

また、昨年開催した全国大会「ジェルこまち 2020」は今年も多くの方々に交流していただきたいと考え、今年度はリフォームコンテスト表彰式と同日 11月18日の開催を予定しております。今年も多くの方々に参加いただけるよう、趣向を凝らしワーキングメンバーで準備を進めておりますので、ご期待ください。

昨年ジェルコレポート第28号に“「ジェルコ活動3つの柱」で注目するポイント”についてのアンケート結果が掲載されました。その中で「ジェルこまち」は14.9%と、最下位でした。つまり、一年前はジェルコ会員の中で一番注目されていない活動だったとも言えます。会員の皆様に「ジェルこまち」の活動を理解いただけるよう、中期計画として「ジェルこまちビジョ



ジェルこまちワーキングの山坂委員長

ン」の策定も合わせて進め、女性だけが何か盛り上がっている活動に終始せず、会員会社の事業活性化にもお役立ていただけるような、女性活躍推進に関する様々な参考情報をホームページや SNS 等で発信していきたいと考えております。

昨今、リフォーム業界でも素晴らしい活躍をされている女性の方々が増えてきています。女性ならではの視点を活かした活躍は益々増えてくることと思います。今回、ジェルコ会員企業の女性の役職等についてアンケートを実施したところ、回答していただいた企業のうち6割の企業に経営者含め女性役職者が在席していることがわかりました。リフォーム業界をリードされているジェルコ会員企業で、女性が益々活躍され、企業、業界発展につながる交流、情報発信になるよう努めて参りますので、会員企業の皆様におかれましては、「ジェルこまち」の活動にご支援、ご協力いただきますよう何卒よろしく願いいたします。

2020年度 ジェルこまち スケジュール

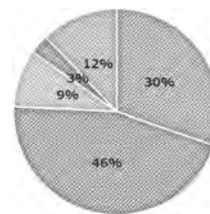
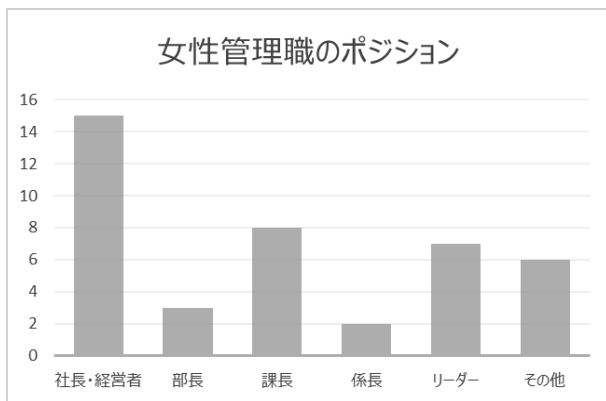
第2回 ジェルこまち全員集合 11月18日(水) 午前中
※作品コンテスト表彰式同日開催

< 各支部 ジェルこまちイベント >
7月21日(火) 九州
9月24日(木) 東北

詳細は、内容が決定いたしましたら、ご案内いたします。奮ってご参加ください。多くの方のご参加をお待ちしております。

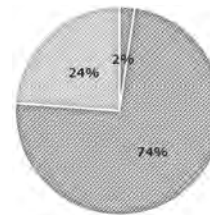
※日程は、6月23日現在の予定です。今後のコロナウィルスの感染状況により中止、あるいは延期になる場合もございます。

◇ ジェルコ会員会社での女性活躍状況 ◇ (会員46社に回答いただきました)



【被扶養人数】

- ・子供1人 (30%)
- ・子供2~3人 (46%)
- ・その他、親等いる (9%)
- ・いない (3%)
- ・無回答 (12%)



【女性管理職の年齢層】

- ・20代~30代 (2%)
- ・40代~50代 (74%)
- ・その他 (24%)

回答頂いた会員会社の6割(28社)に女性管理職が在席!!

参考：「女性リーダー」に必要とされるスキル

プレジデントオンライン(2020年5月30日)に、『課長、部長、そして役員まで、役職によって「女性リーダー」に最も必要とされるスキルとは何か』というタイトルで、コラムが掲載されていた。各役職ごとに、考えていることが異なることが理解出来、興味深い内容だったので紹介します。

課長職、部長職、役員それぞれに対し、Q1.「これは大切・必要」と思ったことは何か。Q2.自分に課したこと、習慣にしたことは何か。Q3.その習慣はどんな場面で役に立ったか。Q4.現在の幸福度は。この同様の4問について回答されたものが集計されている。課長職、部長職で、最も大切に思っていることの1位が、「部下との接し方・チームビルディング」だった。

役職が違って同じだったことが興味深い。どちらの役職も目下の課題は、部下とどう信頼関係を築いていくかということにあることがうかがえる。会社の経営に携わる経営者、役員クラスになると、最も大切だと感じるのは「考察力・決断力」に変化する。責任の重さ、会社の命運を分ける決断を担う役職だからこそその回答だと納得できる。

女性管理職が日々努力を重ね、成果を追求し続けるために行うべきこととして、トップは「自己の感情コントロール」次に「健康管理」が挙がっている。多くの管理職は、部下のマネジメント以上に、自身をコントロールすることの方が大切だと考えていることも、共感出来る内容だった。

https://president.jp/articles/photo/35027?cx_referrertype

SD研は、
地域とお客さまに密着した
「住まいの町医者」です

推進していることは・・・

- 健康 & エコリフォーム
- 家族団らんと親子の絆が深まる住まいと暮らし
- 住まい & 暮らしのインスペクション
- 相談に来てくれる店舗集客の仕組み
- 定期月刊紙企画
- イベント企画
- 備長炭等衣食住自然健康商品
- 女子カアップ 他



通信顧問会員「ふれあい会員」募集中！



SD研 (株)スペース・デザイン研究所
町田市南成瀬5-1-10 サンプラザ西之久保2C
TEL.042-728-5070

<http://www.sdken.co.jp/>
<https://ameblo.jp/kazokudanran7788/>

TOKYO INTERNATIONAL Gift Show ^{Autumn 2020}
The 8th LIFE×DESIGN

ービジネスに役立つリノベーション情報満載の見本市ー



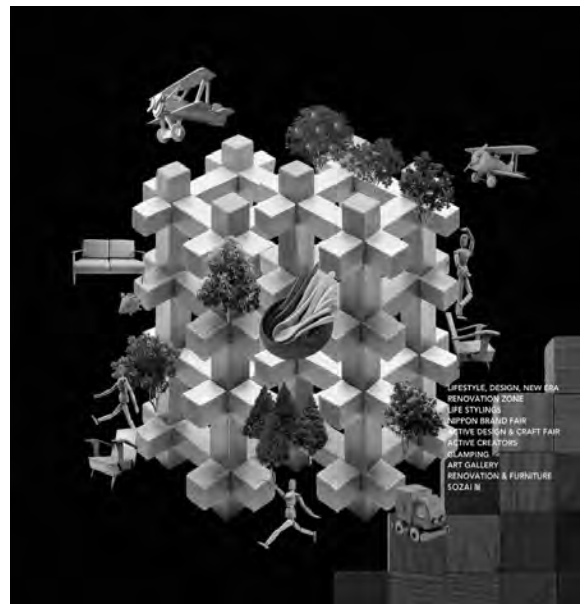
2020 10/7 (wed). 10/8 (thu). 10/9 (fri)

10:00 ~ 18:00 (最終日は 17:00 まで)

会場：東京都立産業貿易センター浜松町館

招待状請求はこちらから www.giftshow.co.jp

主催：(株)ビジネスガイド社 LIFE×DESIGN 事務局 TEL：03-3843-9711



あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO

住宅設備機器総合商社

私たちはお客様に快適な
住空間をご提供いたします



TOTO 中部販売株式会社

本 社：愛知県名古屋市西区笠取町三丁目76番地
支 店：岡崎市、岐南町、鈴鹿市、静岡市
営業所：豊橋市、浜松市、沼津市

<http://www.toto-group.jp/tcu>

すべてはお客様のため

毎日使われるものだから、
すべてのお客様へ
最高のご満足を提供することを目指します



製品の品質だけではなく
取り付け精度、審美性、安全性など、組立品質にも
こだわる。
メーカーとしての責任で、ご満足をお客様に提供す
ることを
目指します。



第24回
アンケート調査

●4～6月の受注、平均で3割減へ

●消費者の自粛ムードが大きな要因に

緊急事態宣言が解除され経済活動が再開され、リフォーム業界も徐々に通常営業に戻りつつあります。しかし、人の動きが活発になるとともに各地で感染者が出てきており、また冬の第二波の感染拡大も心配されます。

その中で感染対策をしながらどう仕事を続けて行くか、リフォーム業界でもリモートでの商品説明・打合せなどへ取組むなど、具体的な動きが始まっています。

そこで、今回第24回調査では、この4月～6月期は緊急事態宣言下にあり一番営業自粛の影響が出ていると思われる定例の四半期の景況感調査に加えて、ウイズコロナ時代のリフォームへの取り組み、今後の姿がどうなるか、会員の皆様から多くのご意見を頂きました。ご回答は前回と同数の会員46社からいただきました。ありがとうございました。

1、会員企業の年商、社員数などについて

今回の調査は、新型コロナの緊急時代宣言が解除されてから2週間ほどたった6月下旬に行った。前回の調査は3月下旬であったが、今回の調査では第2四半期[46月]の受注動向が緊急事態宣言の期間と重なっており、営業自粛等の影響がもろに出る結果となったようだ。まず毎回行っている基本事項の会員企業の社員数、売上高、平均粗利益率等について見てみる。結果は表の通りである。

従業員数では平均で男性が15.9人（前回8.2人）、女性が11.7人（前回5.8人）。年間売上高は平均で8億3399万円（前回4億5609万円）。平均粗利益率は28.8%（前回28.6%）であった。住教員数、売上高は前回より大幅に増えているが中央値は大きな変化は見られない。売上高の中央値

会員企業のプロフィール（年間売上高、社員数、平均粗利益率）

会社情報（平均）						
	第19回（H31.4）	第20回（R1.7）	第21回（R1.10）	第22回（R2.1）	第23回（R2.4）	第24回（R2.7）
男	14.9	14.9	11.8	10.7	8.2	15.9
女	9.2	10.9	7.8	6.0	5.8	11.7
資本金	2,503	2,595	2,738	2,108	2,074	3,117
年間売上高（万円）	97,100	77,926	72,075	32,059	45,609	83,399
平均粗利益率（%）	27.0	29.7	27.2	27.5	28.6	28.8
代表者年齢平均	46.5	55.0	57.9	56.0	55.9	57.3
中央値						
	第19回（H31.4）	第20回（R1.7）	第21回（R1.10）	第22回（R2.1）	第23回（R2.4）	第24回（R2.7）
男	5.0	4.5	5.0	4.5	4.0	5.0
女	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
資本金	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
年間売上高（万円）	30,000	30,000	23,500	20,000	20,000	24,500
平均粗利益率（%）	27.0	30.0	28.0	28.0	28.0	29.0
代表者年齢平均	58	57.0	57.0	57.0	55.0	58.5
最頻値						
	第19回（H31.4）	第20回（R1.7）	第21回（R1.10）	第22回（R2.1）	第23回（R2.4）	第24回（R2.7）
男	4	2	3	4	4	1
女	1	3	3	2	3	3
資本金	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
年間売上高（万円）	15,000	30,000	15,000	20,000	8,000	30,000
平均粗利益率（%）	20.0	30.0	30.0	30.0	28.0	30.0
代表者年齢平均	58	57	45	66	46	71

は2億4500万円、平均粗利益率の中央値29.0%、最頻値30.0%と平均値を超えている。

2. 会員各社の景況感について

四半期ごとの受注件数と受注金額の増減では、今年第2四半期〔4・6月〕期の実績と第3四半期〔7・9月〕期の見通しを聞いた。

緊急事態宣言下で三密対策、営業自粛など影響をもちに受けた形の〔4・6月〕期の実績は、受注件数では、前期に比べ「減少」したとする会員会社が前回と同様5割を超え53.3%だった。「増加」した回答は、前回の13.3%から22.2%と増え10ポイントほど高くなった。受注金額では「減少」回答が55.6%と半数を超えた。「増加」したとの回答は26.7%となり、前期より少し良かった。

また今期〔7・9月〕期の見通しでは、受注件数、受注金額共に前期に比べて「減少」するとの見通しは前期の50%台から30%台に大幅に下がり、逆に「増加」とする回答も昨年同期から1年ぶりに30%台を示す見通しとなった。緊急事態宣言解除で様々な活動再開への期待も見られるが、「減少」「増加」予測が拮抗しており、今後の感染拡

大への警戒感もありそうだ。

3. 増加、減少した工事内容

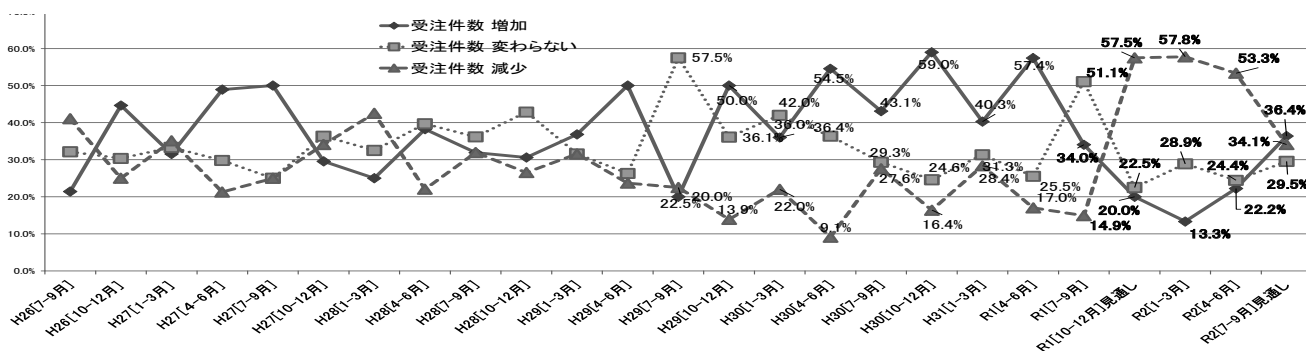
〔4・6月〕期の「増加」・「減少」した工事では、前期同様、厳しい受注状況からほぼ全ての部位、機器類、工事で「減少」となった。水回り部位での「減少」の他、LDなど居室なども「減少」回答が上回った。大規模改修では30ポイントも「減少」回答が「増加」を上回った。増加が目立ったのは「屋根」、「外壁」であった。

4. 新型コロナ時代のリフォームについて

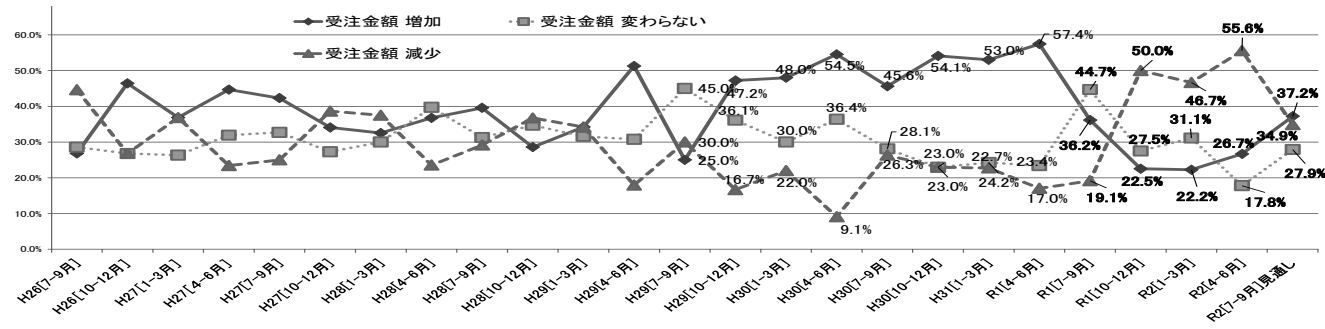
新型コロナ感染拡大を防ぐため国では4月初めに緊急事態宣言が発せられ、全国的に様々な業種で営業自粛が始まった。緊急事態宣言下の4月から6月の3か月間の会員企業の受注実績がどうだったか聞いてみた。前回の調査と同じ質問で聞くと、前回と同様、一番多かったのは「いくらか影響が出る」が46.7%。次いで「相当影響がある」が24.4%、「これまでで最悪だ」が8.9%で、比率も似通った数字だった。

ただし、4月～6月の実績の落込みは、平均で

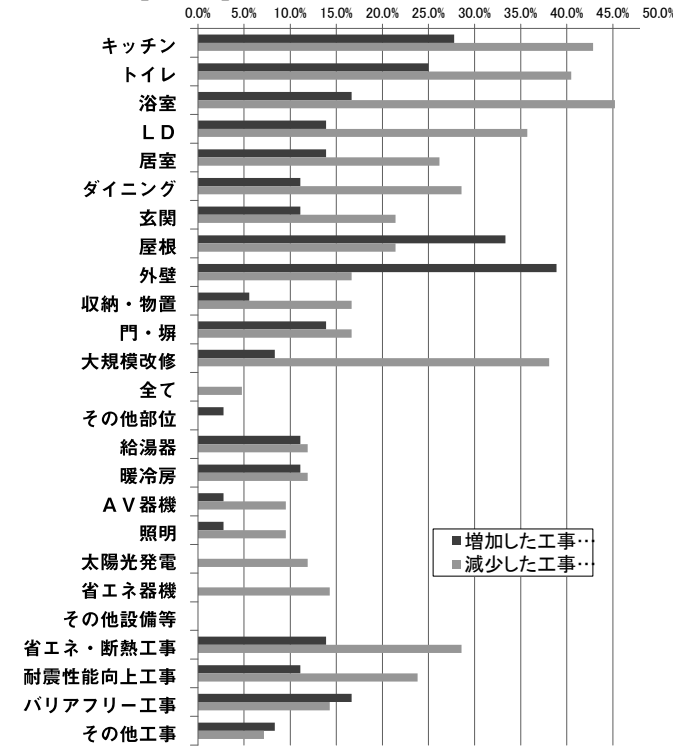
四半期毎の受注推移（件数）



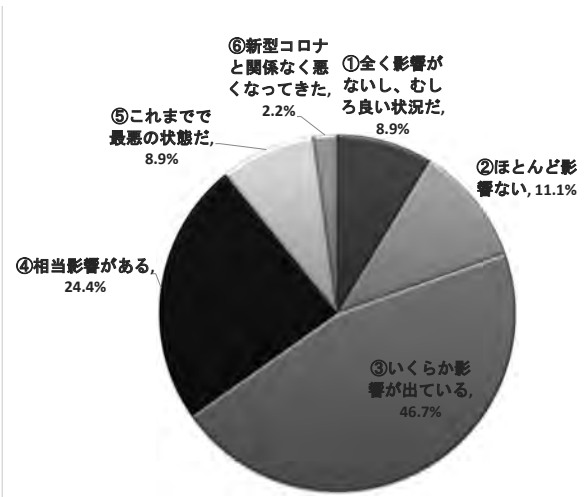
四半期毎の受注推移（金額）



[4-6月] 期に増減した工事内容



緊急事態宣言下の4～6月の売上への影響



受注件数が31.7%減、受注金額が31.0%で、前回の調査より5ポイント増加した。中央値、最頻値も30%減となっているので、大多数がこの期間中3割減の受注となったようだ。個々の回答では受注件数または受注高で50%以上減少と回答した人は46社中14社であった。70～100%減の回答は6社あった。大きな減少幅を記録したところは前回より増えている。

また、こうした大幅の受注減の理由は、緊急事態宣言があったとはいえ、どんな理由だったかを聞いた。一番に挙げられた理由は「消費者の自粛ムード」で59.5%だった。次いで「客から打合せの延期要請」が52.4%、「営業活動を自粛したから」が38.1%、「営業活動を停止したから」が21.4%だった。これを見るとリフォーム事業者の自粛よりも、消費者側の自粛の方が大きな要因だったように見える。

5. 今後のリフォームに求められるものは何か

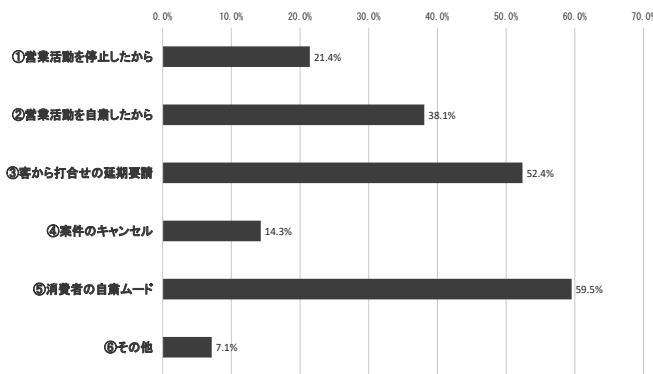
全国で経済活動が動きだしたが、今後の感染拡大も心配され、ウイズコロナ時代の新しい生活習慣に対応したリフォームビジネスの姿も求められている。そこで今回は、「ウイズコロナ時代のリ

フォームで求められるもの」、「あなたの会社の新たな営業方法」についてのご意見や「国の経済施策、業界、ジェルコでの対応」についてのご要望などを聞いた。今回は、大変多くの方々からご意見をいただいた。抜粋して掲載した。

■「ウイズコロナ時代のリフォームで求められるもの」についてのご意見

- ・住まいを快適にしてゆくリフォーム、リノベーションが増えるでしょう
- ・オンライン商談等、三密を避けたクロージング
- ・ステイホームが安全で家族の絆も深まる今、わが家を長く維持させる為に。強度、耐震性を向上させる耐震や外壁に関心が集まると予想される。まずは安全を確保させて徐々に内部へと進める戦略が良いのでは？
- ・特に住みながらの内部リフォームで対策が急務
- ・新しい生活様式、テレワークなどを実践する上でお客様が感じていらっしゃるご不便の解消と先回りした楽しいアイデアのご提案
- ・ステイホームのリフォーム。リフォーム事業者ならではの提案の質向上。(新たな生活スタイルに対応したリフォーム提案)
- ・自粛期間のStay Home 期に消費者が家と向き合う時間ができた。暮らしのもととなる住まいの質を上げていくことが求められている。テレワーク対応なしも。
- ・感染予防に工事に入る業種、作業人数を減らし、多能工的な職人さんで出来る工事が求められてい

受注減の大きな理由は？



ると思います。

・コロナ旋風の中でもOB施主様からの仕事のご依頼は3日に1軒あります。又OB施主様からのご紹介の方々はコロナ旋風が落ち着いた時点の訪問です。これからはリモートも兼ねた営業活動が大切になると思います。

・憩いの場、安全・安心に暮らし、テレワークが出来ることのリフォームが求められています。

・今現在はあまり影響の少ない外部工事を主体に営業をしている。

・お客様との打ち合わせのリモート化

・書斎、ワーキングスペースの間仕切り、間取り変更

■「あなたの会社の新たな営業方法」について

・今のところ、コロナ以前の営業に戻りつつあるが、第2波、第3波があるので、ネットを活用したりリモート営業等準備が必要だと思う。

・住宅系は奥様に主導権がある場合が多く、今は慎重になっているので非住宅の得意先へのアプローチを多くしている。

・ウイズコロナ下での営業対応施策の共有

・LINEを使った打ち合わせでの受注。ZOOMを使った打ち合わせを始めようかと思っています。

・お客様とのリモートでの打ち合わせ、Web現場見学会等を行っております。

・オンライン相談を7月1日よりスタート。数年前よりANDPAD活用したFAXゼロを目指す。

・設備メーカーの協力のもと、自社、お客様、メーカーの3社でオンライン面談している（ショールーム打ち合わせの代わり）。

・コロナ旋風の中でもOB施主様からの仕事のご

依頼は変わりません。又OB施主様からのご紹介も変わりありません。これからはチラシ・ネット・タウン誌・業界誌等で営業収益を伸ばす時代は終わったと思います。人と人の繋がりを大切にする企業が生き残れると思います。

・お客様との打ち合わせはLineやメール、Microsoft One driveを一部使用している。業者や職人との打ち合わせをLineやMicrosoft Teamsを使用して行っている。

・リモートによる相談会、セミナー実施/zoomやE-maiで見積、説明をできるように環境を整えることとこのようなことに対応できる社員教育の実施します。

・外壁工事のバーチャル（CG作成等）での提案 ネットで対応

・社内でチャットワーク・グーグルドライブなど整備している

・顧客とのメールやZOOMでのやりとりが成立するようになった

・リモート営業の実施、予約制にしたり、リモートセミナー開催、またweb広告やSNSの活用、ベルフェイス、ZOOMによる商談などを実施

・アナログ手法の徹底。具体的にDMではなくハガキ郵送。絵葉書・記念切手・手書きが必須で相手のことを思いながら書く。

■「国の経済施策、業界、ジェルコでの対応」についてご要望など

・インフレが心配。

・ジェルコがリフォーム業界のオピニオンリーダーとして認知されていくことが必要だと思う。

・第二波に備え、対策構築。

・持続化給付金や雇用調整助成金など非常に助かる政策が多いです。

・リフォーム系補助金は数あるが、どれもハードルが高い。消費マインドを高めるような補助金施策が必要である。

・リフォーム業界の景気底上げとなるきっかけづくりの支援

・業界指針（ルール）を作ってほしい

・エコポイント（施工費負担）の実施

募集は7月1日から8月31日まで 会員特典 1 作品審査料無料

「ジェルコ・リフォームコンテスト2020」の作品募集がスタート。今回で28回目を迎えた。会員のリフォーム提案力向上を目的に始まったデザインコンテストだが、3年前からは経済産業省からの要請を受けて「リフォームコンテスト」なり「ビジネスモデル部門」を創設、また多くの会員が気軽に応募いただける「ユーザーフォト部門」も加え、今年も3つの部門で作品を募集。昨年ではデザイン部門497作品、ビジネスモデル部門●作品、ユーザーフォト部門50作品の応募があった。今年のお募集期間は7月1日～8月31日。7月1日からホームページで応募要項、応募台紙を掲載した。新型コロナに

負けない各部門の優秀作品が期待される。

今年の募集要項の変更点

本年度の募集要領は募集パンフレットやホームページに詳しく掲載しているので、ここでは大きな変更点等について述べる。

まず最大の変更点はデザイン部門で、これまで会員・非会員問わず1作品5,000円だった審査料を、会員の応募作品について1応募目の作品を無料とした。担当のジェルコ広報渉外委員会（熊谷委員長）では「より多くの会員の皆様から作品応募を」と期待している。

そのほか、デザイン部門の応募要領が多少変更されていますので応募の際は注意が必要。

変更点は次の通り。

①審査料の変更

会員作品＝

1 応募目の作品

は無料、2 応募目

の作品から作品

5,000円

非会員作品＝

一律1作品10,000円

②説明文の文字制限の緩和

台紙のタイトルや概

要等の説明文では、

JERCO REFORM CONTEST 2020

デザイン部門

昨年は497点の応募をいただきました。今年もさらなるご応募をお待ちしております。

■応募要項 若いリフォームは、単に古いものを新しくするだけでなく、お客様の個性的な要望を引出し、それに対して魅力的なデザインと機能を見せ、ライフスタイルをものめらわすことが大切と見ます。本コンテストではデザイン・美しいスタイルだけではなく、そのほかにもデザイン・機能性、操作性、耐久性、省エネ、可変性、リノベーション・コストパフォーマンスなどを加えて、思い通りのデザインを実現した、全面的なリフォームが望まれます。部分別のリフォームも含めて、幅広いニーズの作品を募集します。

応募資格	原則として、2019年9月～2020年8月までに完了した後リフォーム工事業者を対象とします。応募作品は住宅を自社で設計・施工した工事業者によるものに限ります。リフォーム金額は10万円以上とします。応募作品は10万円以上とします。応募作品は10万円以上とします。
応募方法	当ホームページから、応募要領をダウンロードして印刷し、1応募目につき、ジャンル別5,000円（税込）、会員は10,000円（税込）の送料・送料が別途（会員は1枚目無料）。各支店事務局宛にて応募ください。詳しくは事務局（東京）のチラシ各支店事務局までお問い合わせください。お申し込みの際は必ず、本事務局までお問い合わせください。TEL:03-6541-4200
応募締切	2020年8月31日（月）必着
結果発表	2020年10月1日（土）発表式を行います。発表式は、発表式当日の午後1時～3時（発表式当日）に開催されます。発表式当日の午後1時～3時（発表式当日）に開催されます。発表式当日の午後1時～3時（発表式当日）に開催されます。
部位ごとに賞を設定、得意分野でご応募ください！	応募部門 <input type="checkbox"/> 戸建全面部門 <input type="checkbox"/> マンション全面部門 <input type="checkbox"/> リノベーション部門 <input type="checkbox"/> キッチン部門 <input type="checkbox"/> サニタリー部門 <input type="checkbox"/> 浴室部門 <input type="checkbox"/> 外装リフォーム部門 <input type="checkbox"/> 玄関ホール部門
審査基準	お客様の要望への対応、デザイン性、快適性、操作性等を総合的に評価します。 ◎ 素晴らしい空間を実現している。 ◎ 社会課題を解決した最新のリフォームの形を実現している。 ◎ 安全かつ、環境に配慮している。
審査員 （各4名）	◎ 経済産業大臣賞（各1名） ◎ 最優秀賞（各1名） ◎ 優秀賞（各2名） ◎ 佳作（各2名） ◎ 奨励賞（各2名） ◎ 審査員特別賞（各2名） ◎ その他

ビジネスモデル部門

最優秀賞は「経済産業大臣賞」が贈られます。次点は「経済産業省製造産業局長賞」が贈られます。

■応募要項 時代の流れと共に、民間住宅を有効に活用することが求められている中で、これまでにない事業手法、異業種との連携といった新しいビジネスモデルにより、新たな空間価値創造等を提案、成功している事例が期待されています。ジャンル別のリフォームを「消費者の視点」に関する多様なニーズ（サービス）として、リフォーム商全体の発展につなげることを目的に、リフォーム事業者の事業のあり方を、リフォーム商に貢献している事業者など、幅広く先進的なアイデア（サービス）の取組について募集します。

応募資格	原則として、法人格を有する民間企業（株式会社、有限会社、合資会社等）であること。または、法人格を有する団体であること。ただし、店舗展開、施設利用等の地方公共団体、学校法人に限り、その旨に該当する団体等も募集します。
応募方法	当ホームページから、応募要領をダウンロードして印刷し、応募料を5,000円（税込）とし、事務局（東京）のチラシ各支店事務局までお問い合わせください。お申し込みの際は必ず、本事務局までお問い合わせください。TEL:03-6541-4200
応募締切	2020年8月31日（月）必着
結果発表	2020年10月1日（土）発表式を行います。発表式は、発表式当日の午後1時～3時（発表式当日）に開催されます。発表式当日の午後1時～3時（発表式当日）に開催されます。発表式当日の午後1時～3時（発表式当日）に開催されます。
応募対象となる取組	消費者ニーズや社会的ニーズ、多様なニーズに対応するサービス（サービス）及びそのサービスを継続的に行うための取組を対象とします。具体的な取組事例など、詳しくは当ホームページをご覧ください。
審査基準	以下の点を重視して評価を行います。幅広い多様な事業者の応募を求めています。応募作品をすべて掲載する。一つでも突出した取組を持つ取組を優先して掲載させていただきます。 ◎ 社会課題を解決した最新のサービスの形を実現している。 ◎ 安全かつ、環境に配慮している。
審査員 （各4名）	◎ 経済産業大臣賞（各1名） ◎ 最優秀賞（各1名） ◎ 優秀賞（各2名） ◎ 佳作（各2名） ◎ 奨励賞（各2名） ◎ 審査員特別賞（各2名） ◎ その他



昨年、デザイン部門で全国最優秀賞を授賞したハウスの作品

文字数が「〇〇文字以内」制限されていたが、今年「〇〇文字程度」とした。

※多少文字数が多くなってもOKとしたが、あまり文字が多い場合、審査員の負担が増るので、余り多くならないよう配慮必要。

ビジネスモデル部門では、応募要領は昨年と同じだが審査委員が一人新たになった。奥田氏に代わって（一社）日本建材・住宅設備産業協会専務理事の寺家克昌氏が就任した。寺家氏は、ジェルリフォームコンテストのビジネスモデル部門の前身である「先進的なリフォーム事業者表彰」の当時の経済産業省窯業建材課長を務めていた。

ユーザーフォト部門でも、応募要項は昨年と同じだが、デザイン部門に応募された写真は審査の対象にならない。応募の際には注意が必要だ。

今年、ウイズコロナ時代の「新しい日常」

に対応するデザイン提案やビジネスモデルが今後大いに注目されそう。広報渉外委員会では、そうした作品が数多く出てくることを期待している。

なお、優秀作品には昨年と同様、デザイン部門では全国最優秀賞、（公社）住宅リフォーム・紛争処理支援センター理事長賞、住宅リフォーム推進協議会会長賞のほか全国部門別最優秀賞など、ビジネスも出る部門では経済産業大臣賞、経済産業省製造産業局長賞などに賞状、トロフィーなどが贈られる。ユーザーフォト部門でも最優秀賞、優秀賞などの賞状と記念品が贈られる。

今回コンテストの表彰式は11月18日に京王プラザホテルで開催を予定している。ただ新型コロナウイルスの感染状況次第では開催方法等の変更もあるとしている。

I LOVE JERCO

(会員のみなさまのページ)

様々な業種の会員の経験が魅力 ジェルコチームでこの難局乗り越えよう

わが社は来年で創業30周年、ジェルコに入会して15周年です。ジェルコを含め、いろいろな研修会やセミナー講師を務めてきましたが、ジェルコは、会員間の交流と研鑽と刺激が一番の勉強の場ですね。わが社で創業時より研究し続けてきたのが、花粉症などのシックハウス症候群の予防法です。今、この知恵がコロナ対策にも生きています。通風と換気的具体策、自然素材の活用法、カビの防除策などです。

ジェルコには、全国に数多くの知り合い企業があります。入会以前からの知り合い企業も多いですね。仲間組織のような協会です。全国各地の名産品の情報交換コーナーがあってもいいのでは？とったりしています。

さて、ジェルコの良さは、会員が本部や支部の理事や役員をしていることです。本来は全会員が、各社の強みを活かせる何らかの委員になって活動して欲しいと思います。そして、会員ニーズをより具体化し会員に寄り添う協会へ。

会員は、リフォーム会社を中心にしながらも、メーカー、商社、設計事務所、マスコミなどが一体になった協会です。

その中で、私は大卒後、ゼネコンから住宅業界に入り、全国の建築と不動産の両業界の経営者の方々と交流してきました。デベロッパー系、電力系、住宅設備メーカー系、大手ハウスメーカー系、流通業界系の方々など様々です。このことが、自社の強みにもなっています。経営、営業、技術の

3本柱を顧問業務の中心に据え、人財育成では、後継者やNO2、女性の戦力化、特命がとれる現場監督の育成など。販促や営業面では、月刊ミニコミ紙の企画発行、自社のショッピ化とイベントなどの来店営業の仕組みづくり、備長炭等多孔質の自然素材の活用法などをお伝えしています。

このように経験豊富な会員が、ジェルコには数多くいますので、そういう方々の知恵や力を、もっと活かせる協会になればと思います。

アメリカの住宅業界は女性中心です。地域と顧客に、日本以上に密着しています。リフォームは、アフター力を強化し、お客さまとの永〜いご縁をつないでいく商売です。女子力が発揮される所以です。お母さんたちの家事労働を少しでも軽減するリフォームをジェルコを挙げて取り組んでいきませんか？

わが社で30数年実践している住まいのインスペクションへの依頼が今、とても増えています。間取りや水回りなど動線の見直しをインスペクション時にお伝えしています。インスペクションからリフォームへ、という流れを積み上げていきます。

ジェルコもワンチームになって、この難局を一緒に乗り越えて参りましょう！感謝

SD研 (株)スペース・デザイン研究所

<http://www.sdken.co.jp/>

丹羽 啓勝

■□ ジェルコホームページがリニューアル ■□

ホームページをリニューアルし、最新の有益な情報をタイムリーにお届けできるようになりました。是非1度ご覧いただき、各会員様社内の皆様にもご紹介願います。

今回のリニューアルポイントは、

1. トップページに「生活者向け-リフォームをお考えの方はこちら」、「事業者向け-リフォーム事業者の方はこちら」の選択ボタンを設置。簡単に希望のサイトが閲覧できるようになりました。

2. 会員サイトを新設し、パスワードで閲覧可能になりました。リフォームベシック・性能向上リフォーム講習会・本部委員会報告、各種ツール・ジェルこまち・履歴書・コロナ関連等、会員様だけに提供する有益情報を掲載していきます。

3. 5月15日よりコロナ関連を6つのジャンルにまとめて閲覧しやすくしています。 会長指針・ブ로그リレー・対策会議・行政機関支援・財務提案・その他

※このサイトはコロナ終息時には削除の予定です。

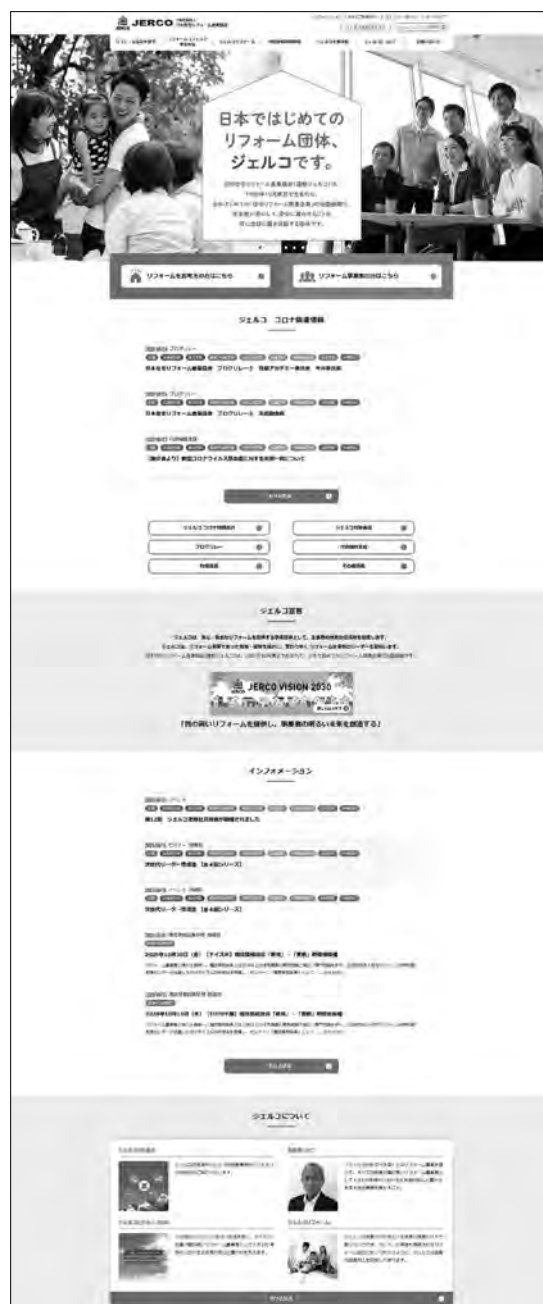
4. よく閲覧するサイトはトップページの一番上の7つタブより選んでクリックすれば直接閲覧することができます。支部の皆様には増改築相談員研修の情報や自社の支部のサイトも直接確認できるようになりました。

5. インフォメーションは直近3つの情報を掲載しています。「もっと見る」をクリックで過去分も確認することができます。

6. 個別サイトも充実しています。

①盛会長 12期方針 動画で確認可能 ②ジェルコビジョン2030

③リフォームコンテスト入賞事例 ④リフォーム会社を探す ⑤各支部毎のサイト (新設)



① 支部会（役員会・定例会など）の使い方

ジェルコでは全国どの支部でも定期的に定例会、支部会、ブロック会、地区会、支部役員会などを開催しており、毎回様々なテーマで話し合わせ、情報交換の場として活用されているほか、様々なセミナー、講習会なども企画・実施されています。こうした会合やイベントなどは会員であれば誰でも参加できますので、ジェルコの毎月の活動を肌で知ることができます。



② 各種セミナー、勉強会の使い方

ジェルコの全国8支部では年間を通じて、ほぼ毎月様々な活動をしています。本部発信の Welcome JERCO Salon は、ミニセミナーと商材等紹介を行い、終了後には情報交換会を行っています。詳しくは本部事務局にお問合せください。



③ 増改築相談員（新規・更新）研修会の使い方

これからリフォームをしようと考えている人が最初に悩むことは「どの業者に頼もうか」ということです。そのようなとき、他社と差別化できる資格が増改築相談員です。実務経験10年以上のキャリアを有した増改築相談員であることをPRすることで、技術的な信用度もグッと上がります。ジェルコでは全国8支部で、毎年増改築相談員研修会を開催しています。開催日程など詳しい情報はジェルコのホームページをご覧ください。



④ ジェルコ総合補償制度と「みんなのミカタ」の使い方

ジェルコ独自の工事保険として好評の「ジェルコ総合補償制度」は約100社が加入しており、

- ① 工事中の工事そのものの損害
- ② 工事中の第三者に与えた損害(施主の財物も含む)
- ③ 工事完了引渡し後に施主や第三者に与えた損害
- ④ 工事期間中に工事現場で偶然な事故により工事対象物などに生じた損害

を総合的に補償します。

2019年からは従業員の福利厚生を目的に、日本初！業種団体一括加入の「みんなのミカタ」（団体長期障害所得補償制度）も立上げ、募集をしているところです。

総合補償制度、「みんなのミカタ」ともに国内トップ水準の保険料率です。随時受け付けていますので、是非参加されることをお薦めします。

⑤ ジェルコアカデミーの使い方

ジェルコ会員としてリフォーム事業を遂行するために備えておきたいリフォームに関する総合的な知識を学ぶために、ジェルコリフォームアカデミーがあります。主だった事業は以下ようになります。

① ベーシックコース：ジェルコ会員必須受講となっており、「ジェルコ倫理憲章」と「リフォーム業務品質」の2科目で構成されています。倫理憲章では会員としての行動規範、リフォーム事業者としての心構え等について学びます。リフォーム業務品質では適切かつ最低限必要なリフォーム工事のガイドラインについて学びます。

② 住宅リフォーム総合技術者2級講習：2016年より、新入社員を含む実務経験年数の浅い方を対象にした資格制度を創設しました。合格者には修了証と登録カードを発行しています。2019年度よりオンデマンド受講でコロナ禍の中講師と対面せずに学べます。



⑦ 企業訪問（ベンチマーク）の使い方

ジェルコ創設以来の伝統と言えるのがこのベンチマークです。地域戦略を基本としているリフォーム事業ですので、エリア外会員の企業訪問申し込みに快く受け入れてノウハウを提供してくれる会員が多くいます。近年では個社同士だけではなく、支部単位でのベンチマーク研修会が増えてきました。



⑥ ジェルコリフォームコンテストの使い方

デザインの優劣を競うデザイン部門は毎年500点前後の応募があり、全国的にも権威のあるコンテストになりました。また2017からは経済産業省のバックアップを受け、ビジネスモデル部門を新設し、最優秀賞には「経済産業大臣賞」が贈られます。2018年からはユーザーフォト部門を新設し、リフォームに関するスナップ写真に賞を贈っています。

毎年7月から応募を開始していますので、ジェルコホームページをご覧ください。奮っての応募をお待ちしています。



⑧ アフタージェルコ（懇親会）の使い方

全国8支部のジェルコでは、毎月役員会やセミナーなどを開催しています。多くの支部では会合の後に懇親会（アフタージェルコ）をセットしています。

ここでは昼間のセミナー等では聞けなかったこと、聞きそびれたことなどを、オープンに聞くことができます。セミナー講師が参加されることも多いので、じっくりと疑問点や問題点を掘り下げて聴くこともできます。このアフタージェルコから参加される会員もいます。



新入会員紹介

新入会員の紹介は、支部、会員企業名、代表者名、所在地、会員種別の順で掲載しております。なお、会員種別は、第1種会員がリフォーム事業者、第2種会員が商社・流通等関連事業者、第3種会員が住宅関連資材メーカー、第4種会員がサービス業等関連事業などです。



【関東甲信越支部】

株式会社秀和建工

代表取締役 中山哲夫 さん

神奈川県大和市 第1種会員

弊社は、建材メーカー・フクビ化学工業様の直請工事部隊として置床・OA床工事を創業以来30年担当させていただいております。工事品質・コンプライアンス等求められる昨今、日々精進の心構えております。今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。



【九州支部】

株式会社カワノ

代表取締役 川野康雄 さん

大分県大分市 第1種会員

当社は亡父が家電店として1959年に創業し、2005年から私が3代目として経営をしています。1999年からは本格邸に耐震に取組み、補助金活用の実績は今年で10年連続で県下一です。この技術を生かして「減築して平屋に」「中古住宅を安心R住宅に」と考えています。



【関東甲信越支部】

株式会社ダイキアクス

代表取締役 大亀裕 さん

東京都中央区 第2種会員

浄化槽等、各種排水処理装置製造販売と住宅設備販売・施工を行っております。ECによる安心・信頼の住宅リフォームを全国へ展開していく為、JERCO様に入会させていただきました。ご指導の程、宜しくお願いたします。



【関東甲信越支部】

株式会社アルダグラム

CEO 木村匠 さん

東京都港区 第4種会員

弊社は‘職人の価値ある時間を最大化する’をミッションに、KANNA（カンナ）というサービスを展開しています。移動やコミュニケーションの手間を鉋のように削り、施工など生産性の高い時間を生み出すお手伝いをしたいという想いから名付けました。JERCO会員の皆様からもご意見をいただきつつ、建設・建築・リフォーム業界を盛り上げていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。



【中国四国支部】

(一社) リフォーマー専門学校

代表理事 大澤仁志 さん

広島県呉市 第4種会員

広島県呉市で、職人を育成する学校を運営しております。木工事や水回り、クロス貼りなど、身につけたい技術を集中して練習できる学校です。新しい業種へ挑戦したい方、新人に現場のことを勉強してもらいたい方などにおススメです。

■ ジェルコ支部所在地 ■

北海道支部事務局 (株)北海道住宅新聞社

〒 001-0029 北海道札幌市北区北 29 条西 4-2-1-201

Tel:011-299-1334 / Fax:011-717-1770

東北支部事務局

〒 104-0032 東京都中央区八丁堀 1-3-2 佐藤ビル 3F

Tel:03-5541-6051 / Fax:03-5541-0128

※ 8 月 1 日より下記に変更

〒 990-0074 山形県山形市芳野 64 番地 (株)感動ハウス

Tel:023-641-9585 / Fax:023-632-3865

関東甲信越支部事務局

〒 104-0032 東京都中央区八丁堀 1-3-2 佐藤ビル 3F

Tel:03-5541-6051 / Fax:03-5541-0128

中部北陸支部事務局 (株)リビング春日井

〒 486-0807 愛知県春日井市大手町 3-14-13

Tel:0568-82-8717 / Fax:0568-82-8723

近畿支部事務局 (有)ミオ・デザイン

〒 657-0846 兵庫県神戸市灘区岩屋北町 1-5-20

Tel:078-801-2537 / Fax:078-801-2538

中国四国支部事務局 (株)やまもと住研

〒 737-0823 広島県呉市海岸 1-4-3

Tel:0823-25-7404 / Fax:0823-25-7404

九州支部事務局 B's Plan

〒 820-0004 福岡県飯塚市新立岩 2-13

Tel:0948-22-2929 / Fax:0948-52-6470

沖縄支部事務局 (株)おきなわ浄環技建

〒 904-0004 沖縄県沖縄市八重島 2-13-9

Tel:098-939-3915 / Fax:098-939-3916



Heart of Jerco

リフォームで
家が変わると暮らしが変わる



一般社団法人
日本住宅リフォーム産業協会

**JERCO
REPORT**
No.281

発行日 2019年10月（創刊 1985年 1月）
発行所 一般社団法人 日本住宅リフォーム産業協会
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-3-2 佐藤ビル 3F
TEL : 03-5541-6050 FAX : 03-5541-0127 URL : <http://www.jerco.or.jp>
年間購読料 一部 / 500円（税込）